

「中学生の税についての作文」 優秀作品表彰

12月12日(金) 富士見町役場において「中学生の税についての作文」の表彰式が行われました。富士見中学校から作文120点が応募され、そのうち「長野県納税貯蓄組合連合会長賞」を1名、「関東信越税理士会長野県支部連合会長賞」を1名、「諏訪納税貯蓄組合連合会長賞」を2名、「富士見町長賞」を5名、受賞されました。

【受賞作文】

- 長野県納税貯蓄組合連合会長賞 …………… 1名
- 関東信越税理士会長野県支部連合会長賞 …… 1名
- 諏訪納税貯蓄組合連合会長賞 …………… 2名
- 富士見町長賞 …………… 5名

- | | | |
|---------------|----|--------------------|
| 「快適なくらしの代償」 | 3年 | おびなた ひろみ
大日方 裕実 |
| 「税について」 | 3年 | よしだ ゆうき
吉田 優希 |
| 「税金の大切さ」 | 3年 | こばやし ゆま
小林 宥舞 |
| 「税率引き上げのあり方」 | 3年 | かない ともやす
金井 智靖 |
| 「私達の暮らしと税」 | 3年 | やなぎさわ なつき
柳澤 菜月 |
| 「消費税について考える。」 | 3年 | はるやま みずき
春山 瑞季 |
| 「税金の今までとこれから」 | 3年 | きたざわ ももか
北澤 百佳 |
| 「租税教室をふまえて」 | 3年 | さきたに まさこ
佐谷 真冴子 |
| 「一人一人がするべきこと」 | 3年 | やじま あんり
矢島 杏里 |



『快適なくらしの代償』

富士見中学校 3年 大日方 裕実

道路は穴だらけ・ごみがあふれる・消防や警察は有料・学校は富裕層しかいけない……。
こんなことが日常的な世界。それが税のない世界。

私は、税について悪いイメージはない。税を納めることに疑問をかんじたこともない。というか、税について考えたことがあまりない。そんな私にも税について考えなければいけない出来事が最近おきた。消費税の増税だ。中学生である私にとって3パーセントの増税は正直つらい。当初は、不満だらけだった。消費税あげる前に自分達の給料を下げろとまで思った。しかし、そんな考えもふっとぶようなことをつい最近知った。国がかかえる借金。収入をはるかにこえる支出。あ然とした。もともと国が借金をかかえていることは知っていたが、具体的な数字は知らなかった。こんなんでは増税にも納得だ。

国がかかえる借金について知ったのは学校で行われた租税教室だが他にも興味深いものがあった。最初に書いた税のない世界について。DVDで税のない世界を描いたビデオを見たのだが、6年生の時にも同じ様なものを見たことがあったので思い出しながら見ていた。ちょうど主人公の家が火事になった場面である記憶がよみがえってきた。泣いている老人の顔だ。でも6年生の時のビデオではない。よくよく思い出してみると何年か前、家で見ていたドキュメンタリーの一部だった。どこの国かは思い出せないが消防はお金を納めている人しか使うことができず、その老人は使えなかった。そのため家は燃えつき、老人はずっとながめていることしかできなかった。似たようなことがアニメの中でもおきている。つまり、このアニメで行っていることは想像ではなく現実だったのだ。強いショックをうけた。

国がかかえる借金も税金がない世界も私は国がほろびる原因になると考える。借金が増えれば破産、税がなければ治安などの悪化を招く。つまり税金を払うということは、これらの出来事を未然に防ぐ、または遅らせることができるのではないだろうか。すなわち快適な生活を送るための代償。そう思って税金を払っていきたい。

『税について』

富士見中学校3年 吉田 優希

僕は、中学3年の9月になった今でもあるサッカーのクラブチームに所属してサッカーをやっています。サッカーは、ケガがつき物なので足をすりむいたりすることはよくあります。

僕が小学5年生の時、試合中に相手と強くぶつかり足の甲を骨折しました。足の指や、肘といったよく骨折してしまうようなところではなかったので、病院に行っても多くの検査をしたりレントゲンを撮ったりしました。治療は1度や2度では終わらず、通院するという形となりました。完治してサッカーがまた出来るようになるまでは1ヶ月半かかりました。通院も、週3回のペースでしました。週3のペースで通院していたので、小学5年生でありながらも、僕は母に「毎回、毎回治療費がかかって負担はない？」と聞きました。母は「保険に入っていて、治療にかかったお金の半分以上は返ってくるから、大丈夫だ。」と言ってくれました。その時は、保険という言葉の意味や、なぜ払ったお金の半分以上が返ってくるかも、よく分からないまま、母に「それなら、大丈夫か。」と言いました。

先日、学校の方で租税教室という税についての講座がありました。富士見町役場の財務課の二人の方に来てもらい、国民が負担する税金や、その負担の仕方など税金の制度について、詳しく、なお丁寧に説明してもらいました。そこでは、アナザーワールドという、もし日本から税金がなくなったらと仮定してつくったビデオを鑑賞しました。そのビデオの中に、スポーツをしていて大きなケガをしてしまい多額の治療費がかかり、それが原因となり家庭までもが崩壊してしまうというものがありました。

今まで、僕は税金についてあまりよいイメージを持つことがありませんでした。理由は自分が稼いだお金が、国にとられてしまうという考えがあったからです。

しかし、租税教室を通して自分のその考えは大きく変わりました。

小学5年生の時にケガをした時も、他にも何か大きな病気があった時も自分の親が納めている税金によって助けられます。自分が体験した租税教室では、毎回、毎回納める税金のことを「会費」という言葉に置きかえていました。

今、そしてこれからは、超高齢化社会に突入して国に入る税金もとても少なくなるそうです。それに僕にはあまりよく分かりませんが、日本は色々な国に大きな大きな借金をしているそうです。もちろん「借金」借りたお金なので返さないといけません。

15歳の自分が、社会に出て社会の一員として、税金を納めるのも早ければ、もう来年のことです。

納税の義務がはたせるそんなしっかりとした大人になりたいです。



▲大日方 裕実さん



▲吉田 優希さん

姉妹町 西伊豆だより

「さまざまガラス—形を楽しむ」展
～黄金崎クリスタルパーク～

富士見町の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

現在、黄金崎クリスタルパークでは、ガラス造形のさまざまな「形」に焦点を当てた企画展を開催しています。

現代では、ガラスは用途を持った実用品や装飾美術品だけでなく、自由に「形」を発想し創作、ガラス造形の可能性が大きく広がり、ガラスそのものを何倍も楽しめるようになってきています。

今展では、人間や動植物、建造物などを自由にイメージした形、自然や人工物などから発想された独創的な形のほか、「形」そのものを切り口にしたユニークな造形や意外性のある表現の現代ガラス作品約30点を展示しています。また、作品の一つひとつがどのような技法を用いて制作されたのかも合わせて紹介していますので、楽しみながら現代ガラスを鑑賞いただけます。

【会 期】平成27年4月7日(水)まで

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

☎ 黄金崎クリスタルパーク ☎0558-55-1515 URL <http://www.kuripa.co.jp/>



さまざま形のガラスをご覧ください

●町政に関するアイデア・要望などをお寄せください。「町長への手紙」の用紙を役場窓口とコミュニティ・プラザに置いてあります。また、富士見町ホームページからは「町民のページ」→「ようこそ町長の部屋」→「町長への手紙」からお名前、ご住所をご記入のうえ、送信してください。いただきましたご意見・ご要望は内容を拝見した後、速やかに回答させていただきます。(記入者不明の場合は、回答できない場合がありますのでご了承ください)